



ヴァンサン・キャロー教授 (パリ・ソルボンヌ大学)

講演会とセミナー

Conférences et séminaires par Vincent Carraud (Professeur à la Sorbonne)

入場無料

使用言語: フランス語

- ・ 講演会: 『『私』とは誰か? 現存在から自我へ』

« *Qui est le moi ? Du Dasein à l'ego* »

筑波大学 東京キャンパス文京校舎 118講義室

2020年1月18日(土)15時~18時

- ・ セミナー 1): 『『事象的存在者』。デカルトからビュルマンへの二つの答弁について』

« *Ens reale. Sur deux réponses de Descartes à Burman* »

2020年1月21日(火)15時~17時

- ・ セミナー 2): 『『われわれは決して現在の時にとどまっていない』。切迫性と現在性に関するパスカルの考察』

« *Nous ne nous tenons jamais au temps présent* ».

Remarques pascaliennes sur l'imminence et la présenteté.

2020年1月22日(水)15時~17時

共に東京大学 本郷キャンパス 法文2号館 哲学研究室

- ・ 講演会: 『パスカル: 『私たちは真理でさえ偶像にしてしまう』』

« *Pascal : « On se fait une idole de la vérité même » »*

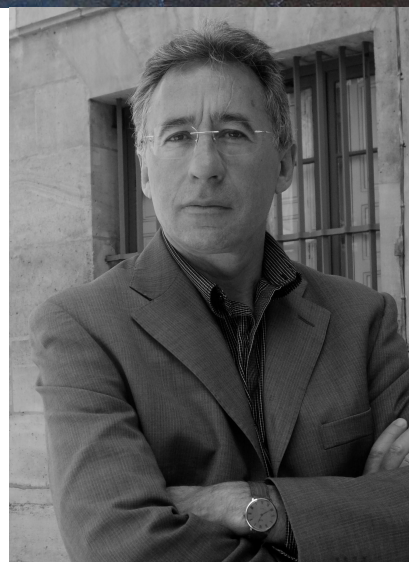
同志社大学 今出川校地 良心館409教室

2020年1月25日(土)15時~18時

共催: 東京大学文学部哲学研究室/筑波大学大学院人文社会科学研究所

科 哲学・思想専攻/同志社大学文学部哲学科/哲学会 (東京大学)

連絡先: 鈴木泉 (izumisz@mac.com)



ヴァンサン・キャロー

パリ・ソルボンヌ大学教授
デカルト研究センター長
アカデミー・フランセーズ
哲学グランプリ受賞(2010年)。専門は西洋近世哲学(特にデカルト、パスカル)。主な著書は以下。*Pascal et la philosophie* (PUF, 1992), *Causa sive ratio. La raison de la cause, de Suarez à Leibniz* (PUF, 2002), *L'invention du moi* (PUF, 2010), etc.

日本学術振興会外国人招へい研究者(短期)

「近世哲学における主観性と形而上学の関係に関する系譜学的・体系的研究」



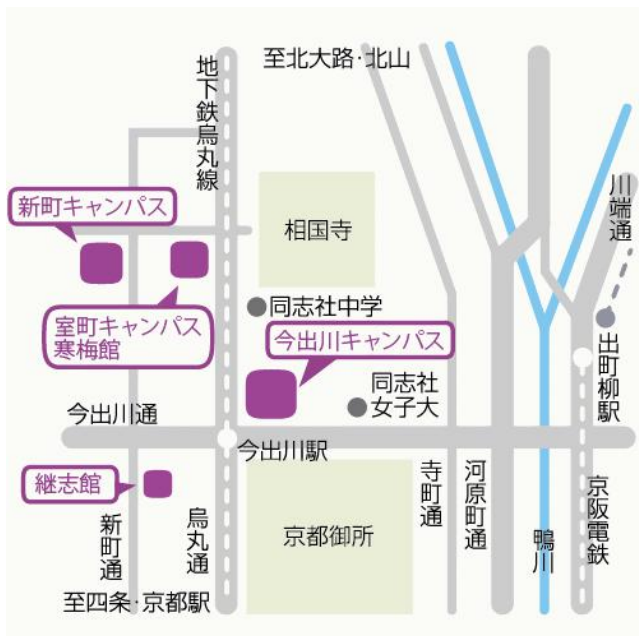
1. 筑波大学 東京キャンパス 文京校舎 118講義室

〒112-0012 東京都
文京区大塚3丁目29-1



2. 東京大学 本郷キャンパス 法文2号館 2階 2210号室 哲学研究室

〒113-0033 東京都
文京区本郷7丁目3-1



3. 同志社大学 今出川校地 良心館409教室

(京都市営地下鉄 今出川駅
北改札直通の建物4階)

〒602-0023 京都府
京都市上京区御所八幡町

本講演会は、日本学術振興会「外国人研究者招へい(短期)」の助成を受けたものです。